

発明者情報

住所 470-0341
愛知県豊田市上原町西山652-7
氏名 イマエダ シゲヒロ
今枝 詩博 (滋洋)
TEL 0565-43-2004
FAX 0565-43-2004
E-mail vyg04051@nifty.ne.jp

TITLE

適温急須

アイデアの図面

美味しくお茶を入れられる

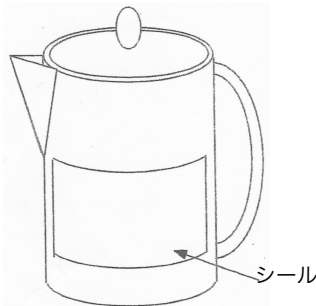


図1、適温急須の実施例

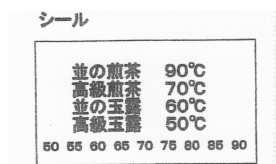


図2、シールの例

- 1、煎茶、玉露の抽出最適温度で文字の色が変化して、茶葉の入れどきがわかる。
- 2、インクは液晶塗料を使用
- 3、何度も繰り返し使用可能
- 4、何年も使用可能
- 5、筒型の急須を使い大面積シール

調査・権利対策

試作品 あり
先願調査 同じものはありませんでした。
市場調査 いくつかの店、ネットではありませんでした。
価格 1万円
権利対策 実用新案登録 第3211850

アイデアの説明

アイデアのセールスポイント

1、急須でお茶を美味しく入れる時のポイントは、抽出条件（抽出温度、抽出時間）である。抽出時間は時計で計る。抽出温度が分かりづらいので、この適温急須を用いる。

2、誰でも、適温急須で美味しくお茶を入れることができます。

3、玉露の抽出最適温度で玉露の文字、煎茶の抽出最適温度で煎茶の文字が現れるので、その時に茶葉を入れ、抽出します。

4、何度でも繰り返し使えます。

5、数年間使えます。（3年ほど使っています。）

6、使用実験中です。3年ほど使っています。

7、実用新案権登録済み（第3211850）

改良した部分、新しい構造はどこですか？

1、シールに示温塗料で、玉露、煎茶、の文字を印刷し、玉露の抽出最適温度（60°C）で玉露の文字、煎茶の抽出最適温度（80°C）で煎茶の文字が現れるようになっている。

2、示温塗料に温度ヒステリシスのない液晶塗料を用いることにより、実現しました。

3、玉露（60°C）、煎茶（80°C）だけでなく、高級玉露（50°C）、並玉露（60度）、高級煎茶（70°C）並煎茶（90°C）の文字を印刷しても良い。

4、筒型の急須で作ることにより、シール（表示面）が広くなりました。

これを使うと、どの部分が便利になりますか？

1、急須の中のお湯の温度を温度計で計らなくても良い。

2、お茶の抽出最適温度になっていることが、一目でわかる。

3、素人でも、美味しくお茶を入れることができる。

企業にわかって欲しいポイント

1、お茶、ペットボトルのお茶が増えてきていますが、急須で入れる高級茶は、全く別物で、大変美味しく、ペットボトルのお茶には負けません。これからも、急須で入れるお茶は生き残ります。また、この適温急須により、素人でも高級茶を美味しく入れやすくなるので、急須で入れるお茶の新しいファンの増加にも期待できます。